

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人地域健康づくり支援会ワンツースリー

1、事業の成果

1) 健康づくり支援事業

健康づくり支援事業では、全国各地のふまねっとサポーターによるボランティア活動を促進し、地域に根ざした住民主体の健康づくり活動を定着させることを目的に、①健康教室の実施、②支部活動支援、③研修会の実施と教室の訪問支援、④機関紙の発行を実施した。

①健康教室については、(A) ふまねっとサポーターが自主的に行う健康教室、(B) 当法人が運営する「ふまねっとハウス」で開催する健康教室、(C) 市町村から委託を受けて行う介護予防教室、を実施した。(A) について、全国でボランティア活動に取り組むふまねっとサポーターは平成 29 年 3 月末日現在 4,000 名に達し、全国各地で行われる健康教室には、年間延べ 32 万名の不特定多数の地域住民が参加していると推計されている。(B) について、「ふまねっとハウス」は、浦見(釧路市)、北 18 条(札幌市)、北 24 条(札幌市)の 3 箇所、高齢者がいつでも健康教室に参加できる機会を提供することを目的に運営しており、3 箇所のふまねっとハウスでは延べ 1,442 名のふまねっとサポーターが 1,073 回の健康教室を行い、延べ 4,008 名の地域住民が参加した。また、浦見のふまねっとハウスでは、困窮者を対象に、社会復帰支援を目的とした健康教室へのボランティア参加の機会を提供するとともに、認知症患者を地域で支えるための認知症カフェを開催した。(C) について、平成 28 年度は釧路市、鶴居村、余市町、東京都東村山市より委託を受け、介護予防教室を合計 176 回行い、1,398 名の地域住民が参加した。担当したサポーター、インストラクターは延べ 409 名だった。

②支部活動支援では、10 支部において、ふまねっとサポーターの健康教室の指導技術の維持向上や活躍の場の拡大及び協力体制の構築を目的とした活動支援を実施した。

③研修会の実施と教室の訪問支援では、全国で 33 回の研修会を実施し、延べ 1,000 名以上のふまねっと指導者や希望者が参加し、指導技術向上と情報交換を図った。

④機関紙については、4 回発行し、会員の活動報告や、インタビュー記事、ふまねっと運動の新しいステップ、指導のアドバイス等の情報を発信した。

2) 地域福祉人材養成事業

地域福祉人材養成事業では、①健康づくり指導者の養成、②住民主体の健康づくり活動の啓発、③東日本大震災被災地支援を行った。

①健康づくり指導者の養成では、平成 28 年度は全国(愛知県、秋田県、神奈川県、大阪府、静岡県、千葉県、東京都、栃木県、新潟県、北海道、宮城県、山形県、山口県)でふまねっとサポーター養成講習会を 73 回、ふまねっとインストラクター 3 級養成講習会を 35 回実施し、ふまねっとサポーターを 1,028 名、ふまねっとインストラクターを 653 名養成した。

②住民主体の健康づくり活動の啓発では、市町村や医療福祉関係機関、地域団体から依頼を受け、講演会や体験会を 32 回実施し、1,449 名が参加した。

③東日本大震災被災地支援については、札幌市さぽーとほっと基金から助成を受け、宮城県石巻市や岩手県大槌町、釜石市、山田町で体験講演会や講習会、研修会等の活動を 11 回実施した。実施

にあたり、NPO 法人ばんぷきんふれあい会や認定 NPO 法人心の架け橋いわて、一般社団法人いっぽいっぽ岩手等の連携や協力を得ることができた。

3) 研究開発普及促進事業

研究開発普及促進事業では、①健康づくり用具の製造、②運動プログラムの研究開発、③健康づくり用具、教材の販売を行った。

①健康づくり用具の製造については、ゴム製ふまねっとの製造を生活保護受給者の支援団体に委託し、生活保護受給者の社会参加と自立支援への貢献を図った。また新たに、赤色のナイロン製ふまねつとを韓国のふまねつと運動普及団体に開発協力と製造を依頼した。

②運動プログラムの研究開発については、「認知機能改善 8 週間プログラム」の改訂と、新しい教本「じっくりステップ・記憶改善型ふまねつと教室プログラム」の開発作成を行った。また、認知症患者を対象としたふまねつと運動の指導方法の予備的研究に取り組んだ。

③健康づくり用具、教材の販売については、ふまねつと本体やふまねつと運動指導教材の販売を行った。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

定款の事業名 (定款上の事業番号)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額
健康づくり支援事業 (1, 2, 3)	①健康教室の実施	H28.4.1 ~ H29.3.31	全国	4,000 名	一般地域住民 延べ 32 万名	19,570,076 円
	②支部活動支援		網走市、余市町 旭川市、石狩市 札幌市、遠野市 士幌町、函館市 帯広市、由仁町	50 名	支部会員 1,486 名、 各市町村住民	
	③研修会の実施、 教室の訪問支援		全国	40 名	正会員、一般地域住民 962 名	
	④機関紙の発行		全国	20 名	正会員 6,573 名、 配布を希望する者	
地域福祉人材養成事業 (6, 7)	①健康づくり指導者の 養成	H28.4.1 ~ H29.3.31	全国	140 名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員 1,681 名	13,547,952 円
	②住民主体の 健康づくり啓発 (札幌市地域連携促進 助成事業含む)		全国	50 名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員 1,449 名	
	③東日本大震災 被災地支援 (札幌市さぼーとほっ と基金助成事業含む)		宮城県、岩手県	23 名	事業の対象 143 名 被災地の住民	
研究開発普及促進事業 (8)	①健康づくり用具の 製造	H28.4.1 ~ H29.3.31	釧路市、韓国	5 名	生活保護受給者等	11,354,184 円
	②運動プログラムの 研究開発		札幌市、釧路市	5 名	全国の医療福祉施設職員 と利用者	
	③健康づくり用具、 教材の販売		札幌市、釧路市	5 名	全国の一般地域住民	

(2) その他の事業

なし